エンホルツムマブ　ベドチン療法

大津赤十字病院　薬剤部
2022/1/17　20N015

【治療スケジュール】

以下のメニューのおくすりを4週間毎繰り返します。

薬剤名	外観	液色	薬効	1クール 第1日目 投与方法	2～7日 点滴	8日 点滴	9～14日 点滴	15日 点滴	16～28日 点滴
① 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓ 15分・点滴	お休み	↓	お休み	↓	お休み
② パドセブ注®		無色	細胞増殖を抑えます	↓ 1時間・点滴		↓		↓	
③ 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓ 15分・点滴		↓		↓	

※お薬の投与速度・投与間隔が変わることがあります。
※また、症状に応じてお薬を変更・追加・削除することがあります。

【注意事項】

点滴中は安静にし、注射の針を刺している部分が動かないように心掛けてください。
お薬が皮膚に漏れると、針を刺している部分に違和感や痛み、腫れ、赤み等が現れることがあります。
このような症状がありましたら速やかにお知らせください。
また、このような症状は点滴終了後や、しばらくたってから起こることがありますのでご注意ください。

【副作用と発現時期】

ここにはあくまで一般的に予想される副作用が、いつごろ現れるかをお示ししています。
これらの症状が必ず起こるということではありません。発現頻度・程度・時期には個人差があります。
また、これら以外の副作用が現れることもありますので、症状が現れた時はお知らせください。

投与当日～数日間	数日～数週間	数週間～数ヶ月	経過
吐き気・嘔吐	骨髄抑制(※)、倦怠感、食欲不振、皮疹、高血糖、しびれ、下痢、便秘	脱毛、ドライアイ	

※骨髄は、血液成分である白血球・赤血球・血小板等を産生する臓器です。骨髄抑制とは、その機能が低下することを言います。

【注意が必要な副作用】

次に示すような副作用が報告されています。下記の症状が現れた時は医師または薬剤師へお知らせください。

骨髄抑制　：★38℃以上の発熱、咳、下痢、排尿痛・残尿感、性器痛、肛門痛、鼻血、血便・血尿、歯茎出血、腕や足の赤い斑点、疲れやすい、めまい・息切れ
過敏症　：★呼吸困難、じん麻疹、眼およびロの周囲の腫れ、冷汗、頻脈
消化器症状　：★突然の激しい腹痛、背部痛、重度の下痢、脱水症状、もたれ、胸やけ、吐き気、嘔吐、食欲不振
心障害　：★呼吸困難、足などのむくみ、咳の増加、胸痛、みぞおちや頚部の締付け、圧迫感、冷汗
腎障害　：★顔・手足などのむくみ、尿量減少、尿が赤みを帯びる、体重減少、口の渇き、高度の蛋白尿
肝障害　：★全身倦怠感、食欲不振、疲れやすい、腹部不快感、黄疸(皮膚や眼などが黄色くなる)
脳障害　：★突然の激しい頭痛、意識障害、歩行時のふらつき、四肢末端のしびれ感、舌のもつれ、うまく話せない、けいれん発作、精神状態変化、視覚異常
皮膚障害　：★中央に浮腫を伴った発疹、まぶた・眼球結膜の充血、口腔内の痛みを伴った粘膜疹
肺障害　：★胸痛、意識障害、呼吸困難、(空)咳、発汗、発熱、ピンク色の痰がでる、尿量減少、むくみ
聴力障害　：★耳が聞こえにくい、耳鳴り、高音が聞こえにくい
血栓　：★意識を失いそうになる、身体の麻痺、ろれつがまわらなくなる、激しいめまい、胸が痛んだり締め付けられるような感じ、足がむくんだり痛みが出る、突然の息切れ
高血圧　：★我慢できない頭痛、気分が悪く吐き気がする、意識がもうろうとする、けいれん
末梢神経障害：★感覚や運動の麻痺、手足のしびれ、手足の痛み
創傷治癒遅延：★傷口が治りにくい、傷口がひらく、傷口からの出血
出血　：★口から血を吐く、血便、鼻血や歯肉、膣からの出血

連絡先　大津赤十字病院
TEL 077-522-4131

平日8:30 ～ 17:00　受診されている診療科
平日17:00 ～ 翌8:30 及び 休日　救急外来

2022/1作成